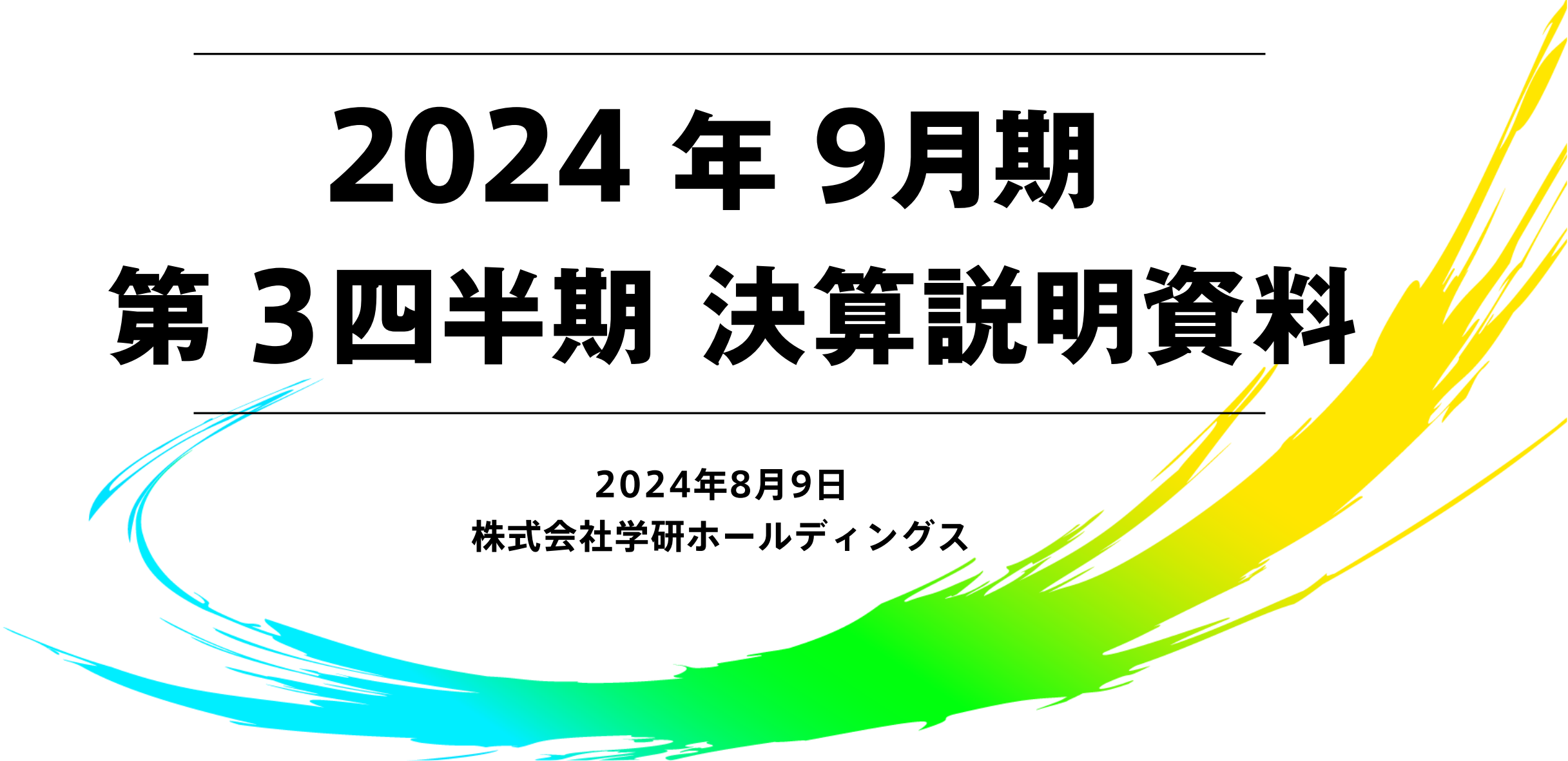

2024 年 9月期 第 3 四半期 決算説明資料

2024年8月9日
株式会社学研ホールディングス



INDEX

2024年9月期	第3四半期決算概要	…… P.03
教育分野	業績	…… P.08
医療福祉分野	業績	…… P.13
決算補足資料		…… P.15

2024年9月期 第3四半期 決算概要

2024年9月期 第3四半期決算 連結業績サマリー

売上高

1,381 億円
前年同期比
+15.7% ↑

医療福祉の好調と市進ホールディングス等の連結化により増収続く

営業利益

51.5 億円
前年同期比
+56.0% ↑

医療福祉分野、語学・社会人教育事業、小学校教科書改訂が寄与

経常利益

51.1 億円
前年同期比
+46.8% ↑

持分法投資利益の減少あるも、営業利益増および為替差損の減少により増益

EBITDA*¹

82.2 億円
前年同期比
+49.3% ↑

営業利益の増加に加えて、償却額も増加しており、80億円超となる

四半期純利益*²

18.7 億円
前年同期比
+62.3% ↑

営業利益以下の増益効果で大幅増加

Topics

ESG関連の主要INDEXの一つである
「FTSE Blossom Japan Sector Relative」
に採択されました

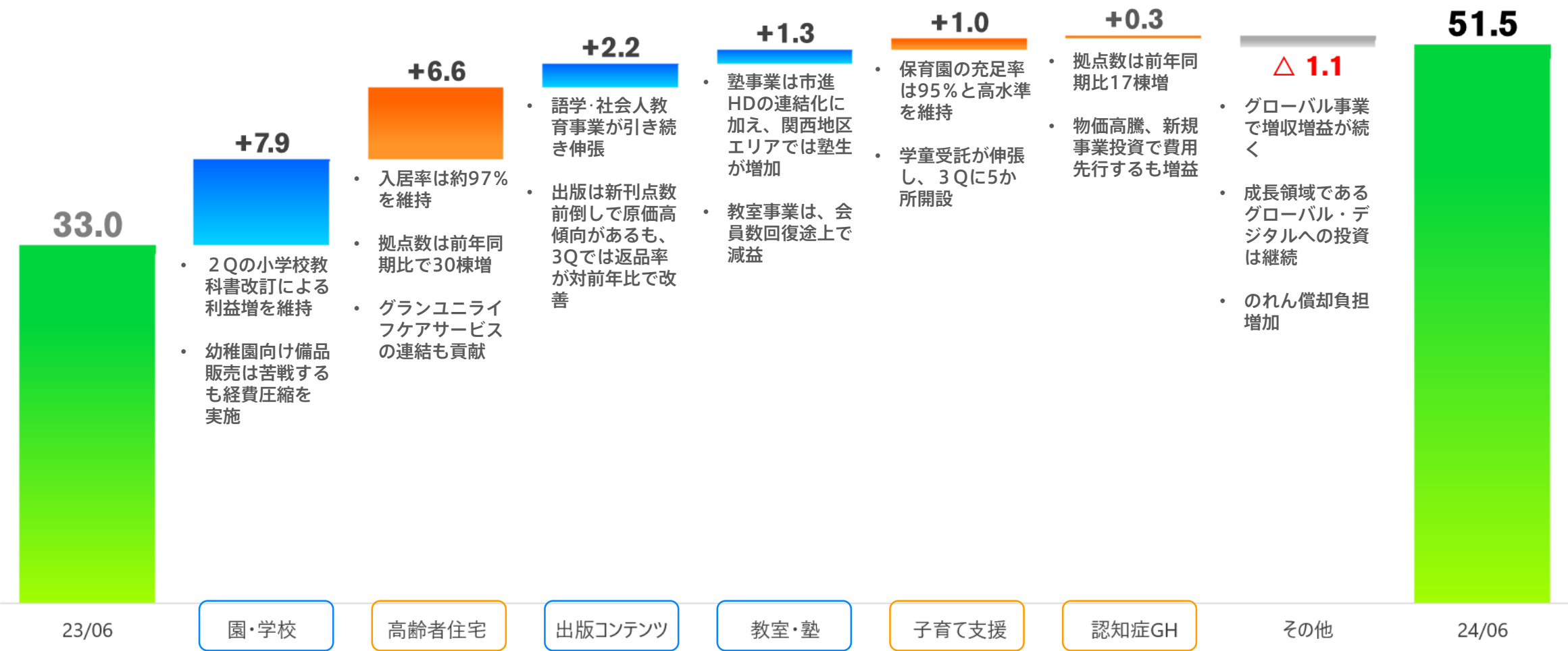
*¹営業利益・減価償却費・のれん償却費の合算

*²親会社株主に帰属する四半期純利益

営業利益 増減分析

単位：億円

教育分野は小学校教科書改訂並びに語学・社会人教育がけん引、医療福祉分野は高齢者住宅事業が増益確保



2024年9月期 第3四半期 セグメント別業績

単位：億円

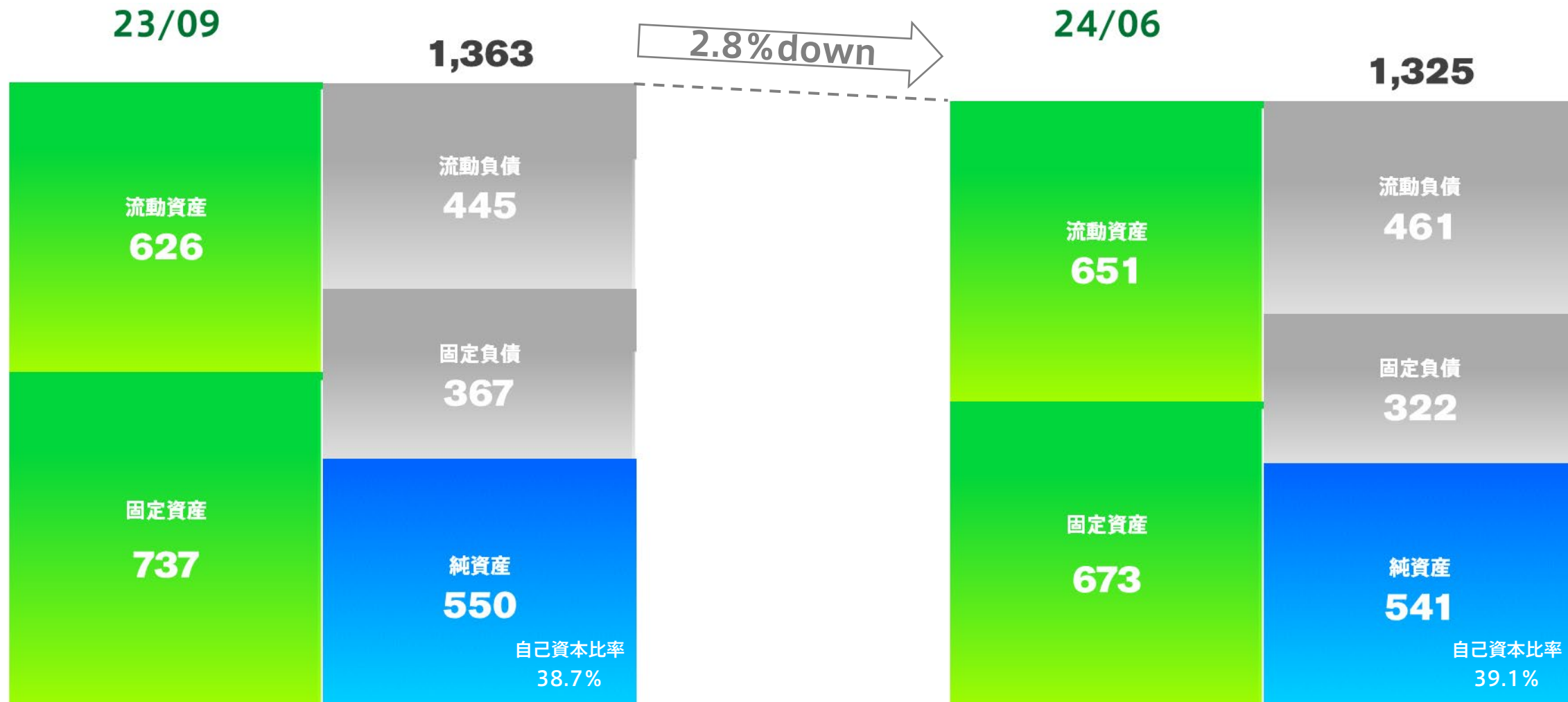
セグメント 事業	2023年9月期	3Q実績	2024年9月期	3Q実績	増減（対前期）	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
教育分野	572.6	19.5	691.4	29.1	+118.7	+9.6
教室・塾	266.4	6.8	391.8	8.1	+125.3	+1.3
出版コンテンツ	203.5	13.3	194.7	15.6	-8.8	+2.2
園・学校	102.6	0.5	104.8	8.5	+2.2	+7.9
のれん	—	-1.1	—	-3.1	—	-1.9
医療福祉分野	577.2	24.5	643.6	31.6	+66.4	+7.1
高齢者住宅	265.2	9.8	308.9	16.5	+43.6	+6.6
認知症グループホーム	265.4	17.2	282.2	17.5	+16.7	+0.3
子育て支援	46.4	0.9	52.4	1.9	+6.0	+1.0
のれん	—	-3.4	—	-4.4	—	-0.9
その他	43.7	3.3	46.4	4.1	+2.6	+0.8
調整額	—	-14.3	—	-13.4	—	+0.9
グループ合計	1,193.6	33.0	1,381.5	51.5	+187.8	+18.5

連結財政状態

単位：億円

投資有価証券を中心に固定資産を削減し、総資産は2.8%の減少

自社株買い20億円実施するも、四半期純利益の増益もあり自己資本比率は39.1%と改善



教育分野 業績

幅広く子どもたちの学習を支援する3事業を展開。社会人向けのサービスも拡充しています。

- 1)教室・塾事業…………… 日常学習を支援する幼児教室・学研教室に加え、各地で進学塾を運営
- 2)出版コンテンツ事業… 児童書、学習参考書等の出版物や、eラーニング等の制作・販売
- 3)園・学校事業…………… 幼保園等への物販や教科書・学校向け教材の制作・販売

教育分野 サブセグメント及び事業構成の見直し

旧：2023年9月期まで

新：2024年9月期から

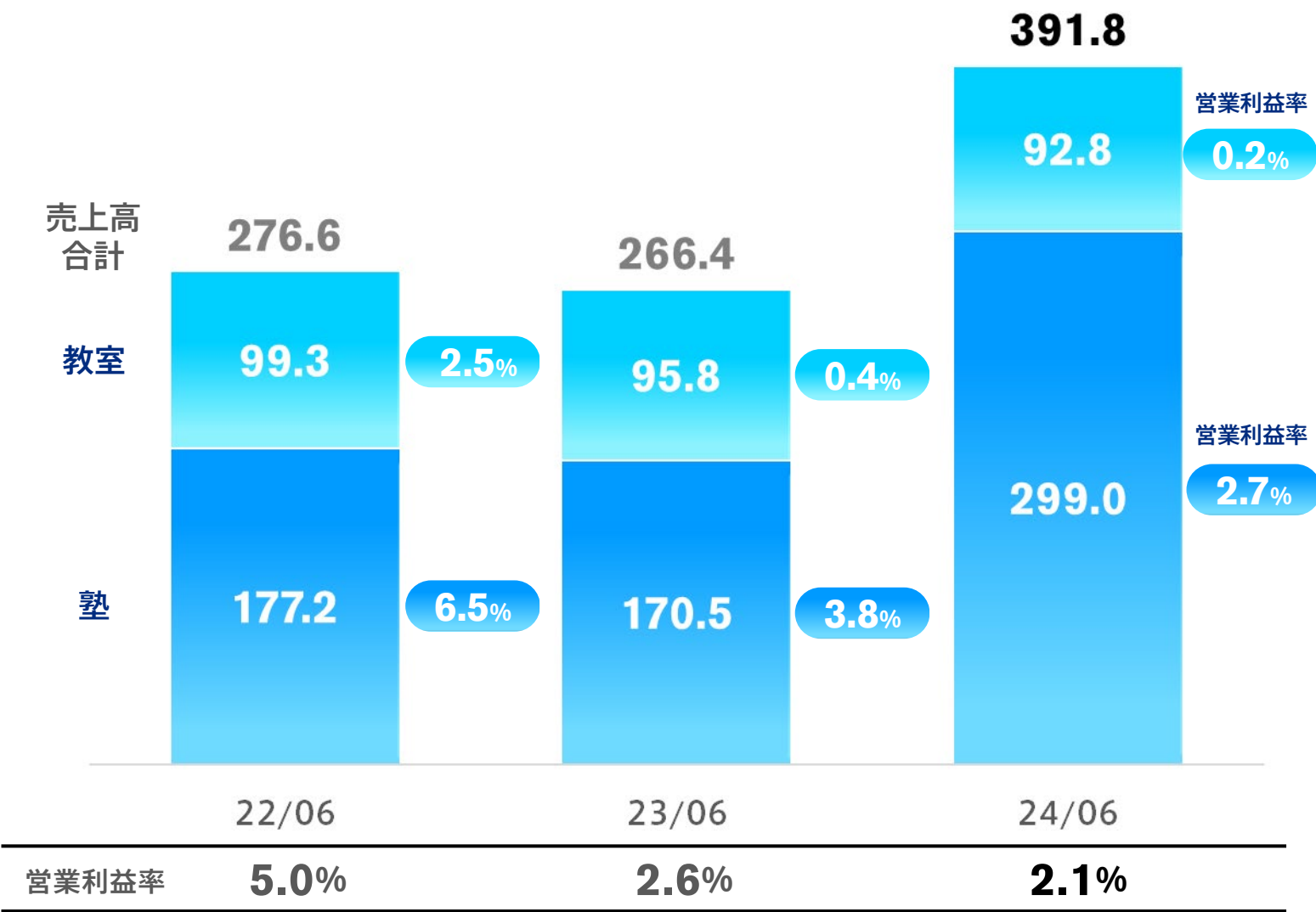
セグメント	サブセグメント	主な事業
教室・塾	教室	・ 幼児教室・学研教室事業 ・ 教室向けデジタルサービス運営
	塾	・ 塾運営事業 ・ ViSC運営
出版コンテンツ	出版	・ 一般出版事業 (児童書・学参書・実用書・地図ガイドほか) ・ 塾向け出版事業
	出版以外	・ 体験型英語施設運営 ・ オンライン英会話事業 ・ (株)学研ステイフル 知育玩具事業 →2023/9期 4Qより持分法適用関連会社に変更
	医学看護	・ 専門書出版事業 (医書・看護書) ・ 看護師eラーニング事業
園・学校	幼児	・ 園向け物販事業
	学校	・ 小・中教科書事業 ・ 高校向け小論文添削事業 ・ その他学校向けサービス各種
	社会人	・ 企業向け研修事業

セグメント	サブセグメント	主な事業
教室・塾	教室	・ 幼児教室・学研教室事業 ・ 教室向けデジタルサービス運営
	塾	・ 塾運営事業 ・ ViSC運営 ・ 市進ホールディングス* ・ 塾向け出版事業
出版コンテンツ	出版	・ 一般出版事業 (児童書・学参書・実用書・地図ガイドほか) ・ 専門書出版事業 (医書・看護書)
	NEW 語学・社会人教育	・ 看護師eラーニング事業 ・ オンライン英会話事業 ・ 体験型英語施設運営 ・ 企業向け研修事業
園・学校	幼児	・ 園向け物販事業
	学校	・ 小・中教科書事業 ・ 高校向け小論文添削事業 ・ その他学校向けサービス各種

*市進ホールディングスの介護サービス事業は医療福祉分野認知症グループホーム事業から移管

教室・塾事業*第3四半期業績サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

- ・市進ホールディングス・エヌイーホールディングスの連結化に伴い大幅増収
- ・塾グループ全体として、生徒数が回復基調
- ・学研教室の新設教室数が増え、4月の新規会員数は前年同期比で増加

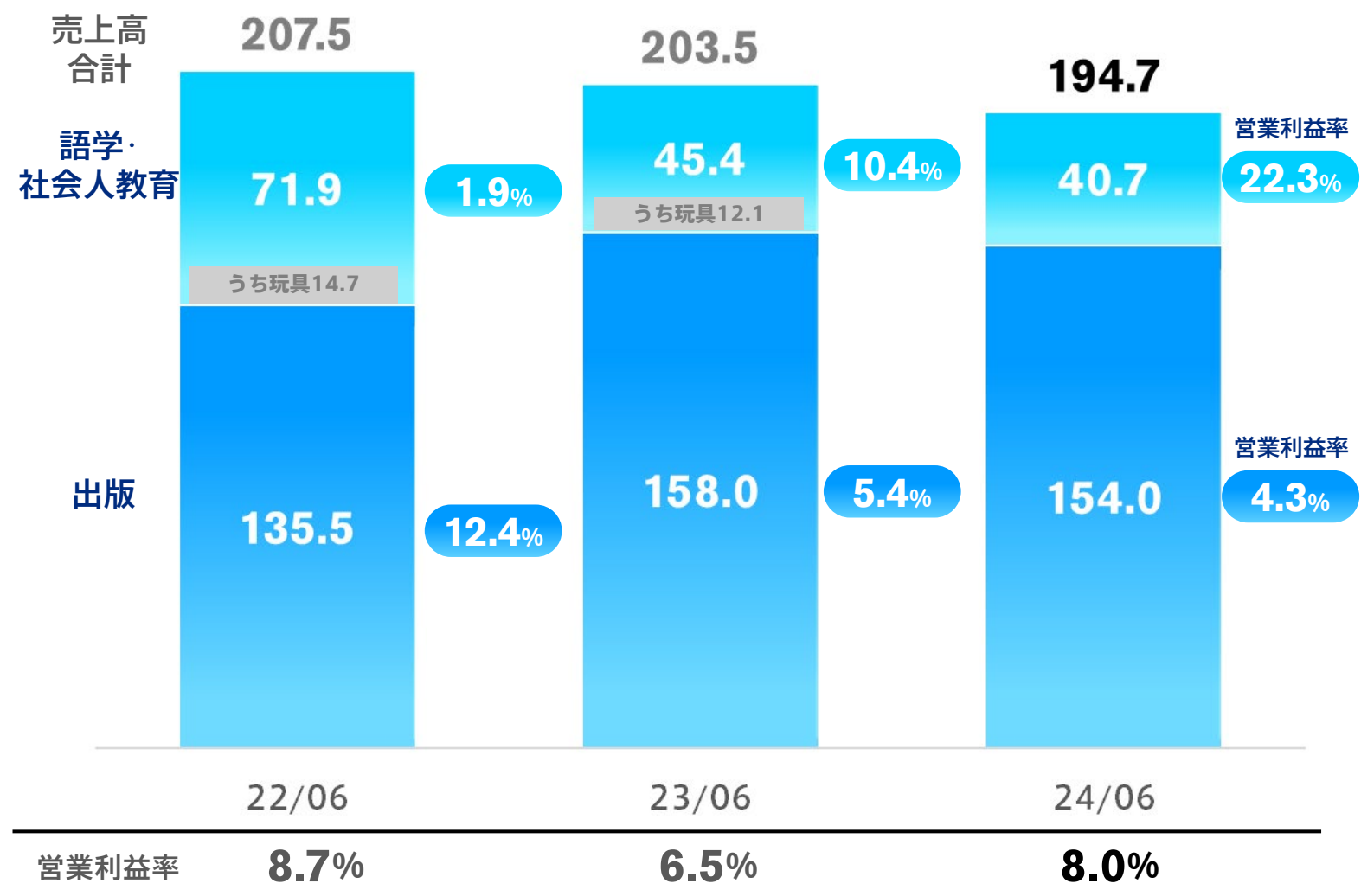
ネガティブ要素

- ・幼児教室会員数の伸び悩み
- ・受験競争緩和による通塾率の減少

*塾事業は市進ホールディングスの2024年2月期第3～4四半期（9～2月）と2025年2月期第1四半期（3～5月）の業績を取り込んでいます。

出版コンテンツ事業 第3四半期業績サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

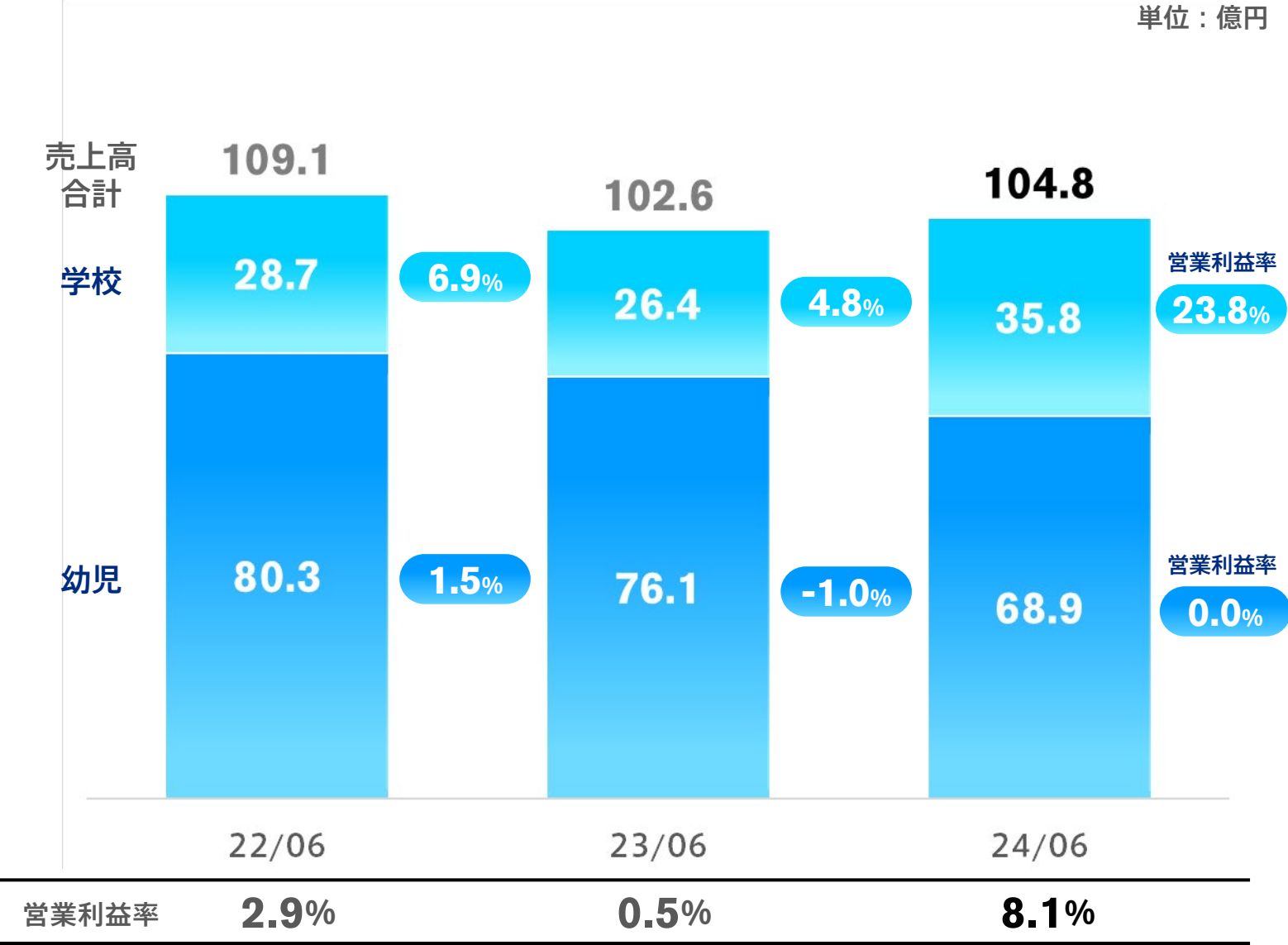
- 第3四半期での返品率は前年同期比で△1.4%pt.改善
- 看護師eラーニング事業の業績順調
- オンライン英会話事業も好調で有料会員数も増加中

ネガティブ要素

- 累計返品率は前期比で2.0%pt.悪化の28.5%と依然高い水準
- 児童書の販売低調

園・学校事業 第3四半期業績サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

- ・ 小学校向け教科書改訂に伴い、指導書や副読本販売部数が2Qで大幅に増加
- ・ 幼児事業では経費削減により増益

ネガティブ要素

- ・ 新設園減少並びに、設備投資を控える傾向あり、園向け大型遊具・備品受注が回復せず
- ・ 補助金減少、需要低迷により先生向けエプロンなどオリジナル商品の販売不振

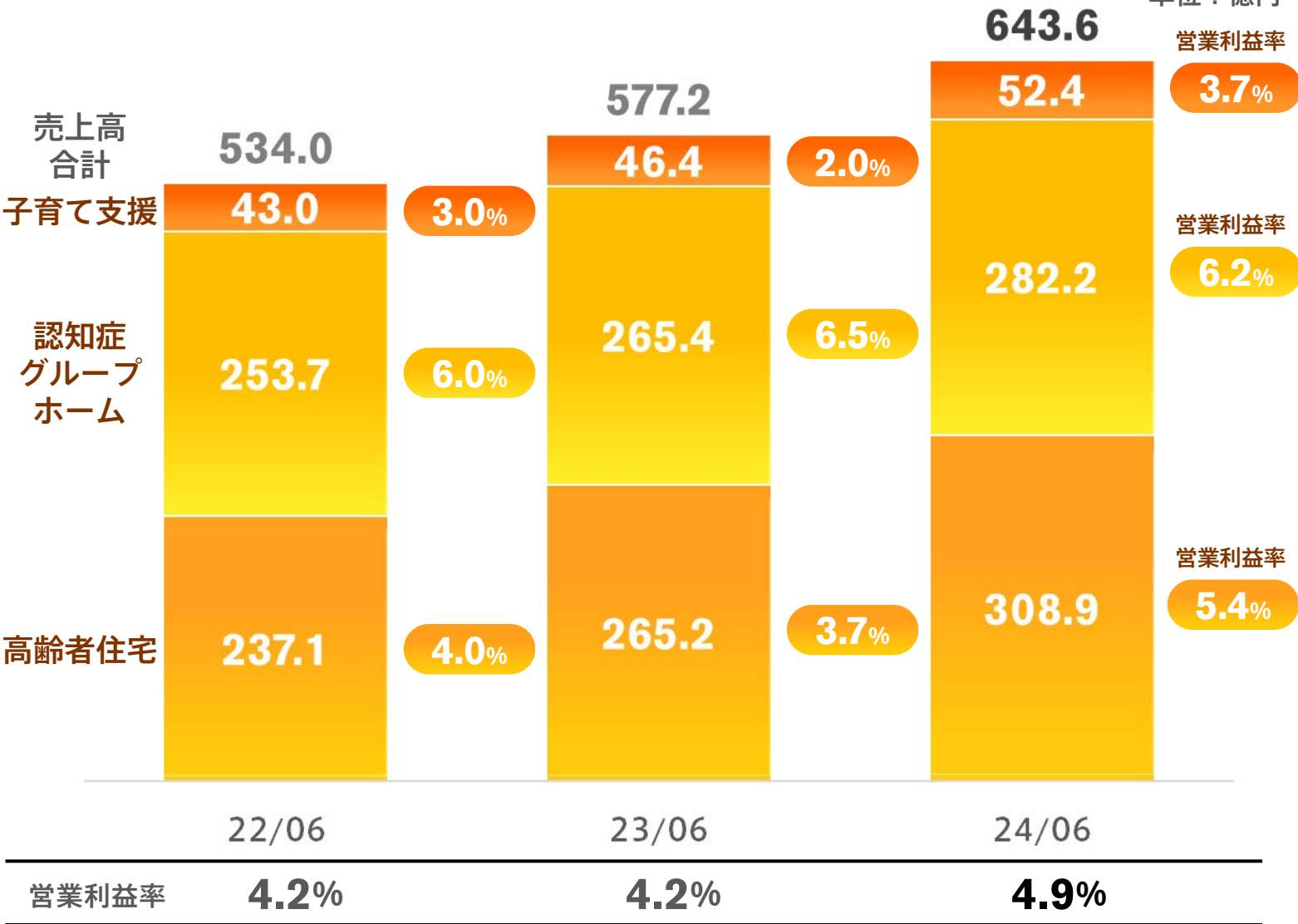
医療福祉分野 業績

3つの事業で少子高齢化の社会課題に挑み、多世代が安心して暮らせる街づくりを進めます。

- 1) 高齢者住宅事業 … サービス付き高齢者向け住宅、介護サービス拠点等の企画・開発・運営
- 2) 認知症グループホーム事業 …… グループホームの運営や関連サービスの企画・開発・運営
- 3) 子育て支援事業 … 保育園・こども園・学童施設・児童発達支援施設等の企画・開発・運営

医療福祉分野 第3四半期業績サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

- 新規開設順調 (3Q累計)
 - 高年齢者住宅 (+26事業所)
 - 認知症GH (+13事業所)
- 入居率、充足率は高水準で推移
 - 高年齢者住宅 97.4%
 - 認知症GH 96.6%
 - 保育園 95.1%

ネガティブ要素

- 建設費高騰に伴い、オーナーには新規開設に慎重な姿勢も
- 食材費等の物価高騰に伴うコスト増
- 水光熱費の再上昇

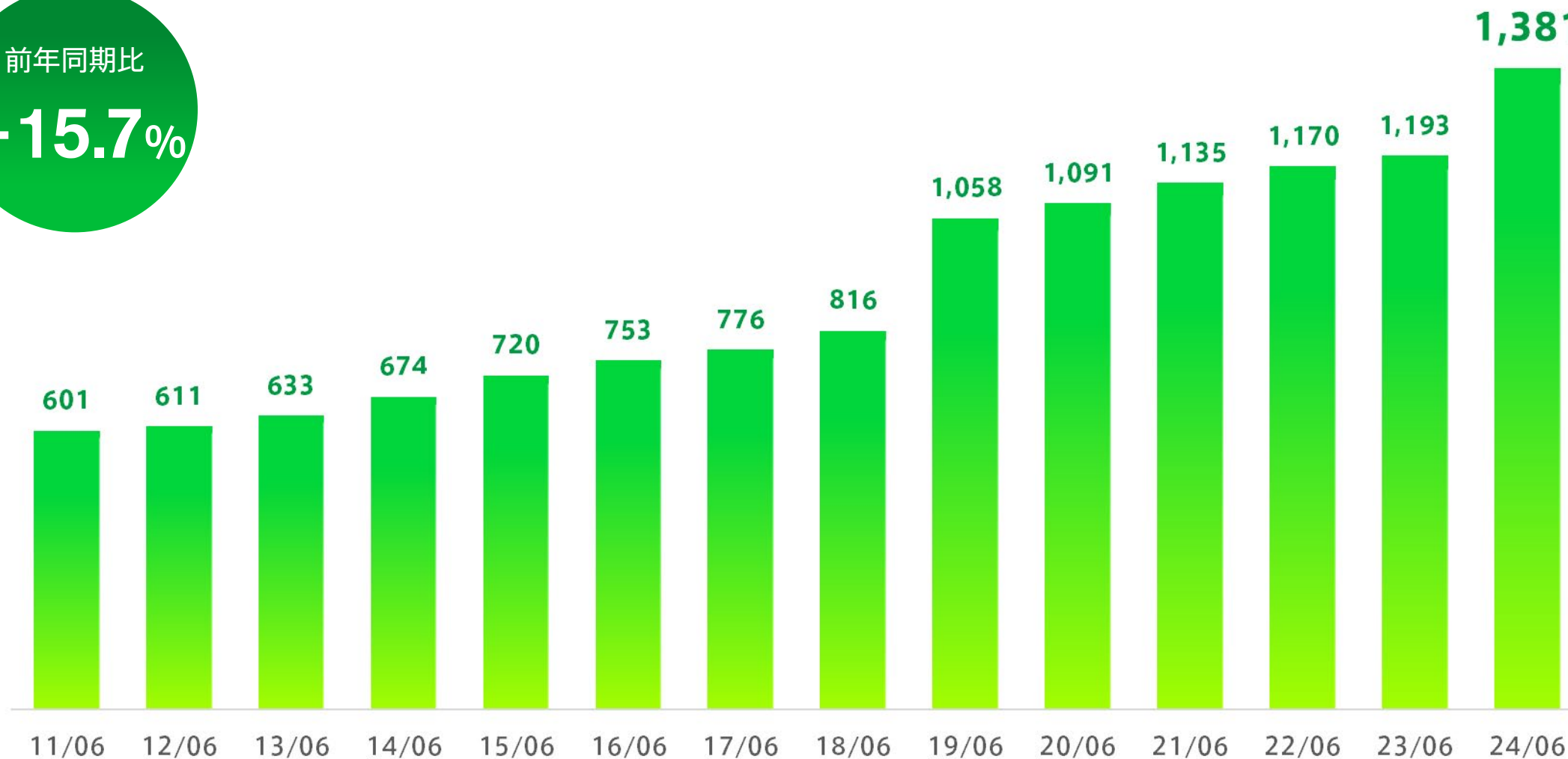
決算補足資料

A large, expressive green brushstroke that starts from the bottom left and sweeps upwards and to the right, ending near the top right corner of the slide. It has a textured, painterly appearance with varying shades of green.

第3四半期 売上高 推移

単位：億円

前年同期比
+15.7%

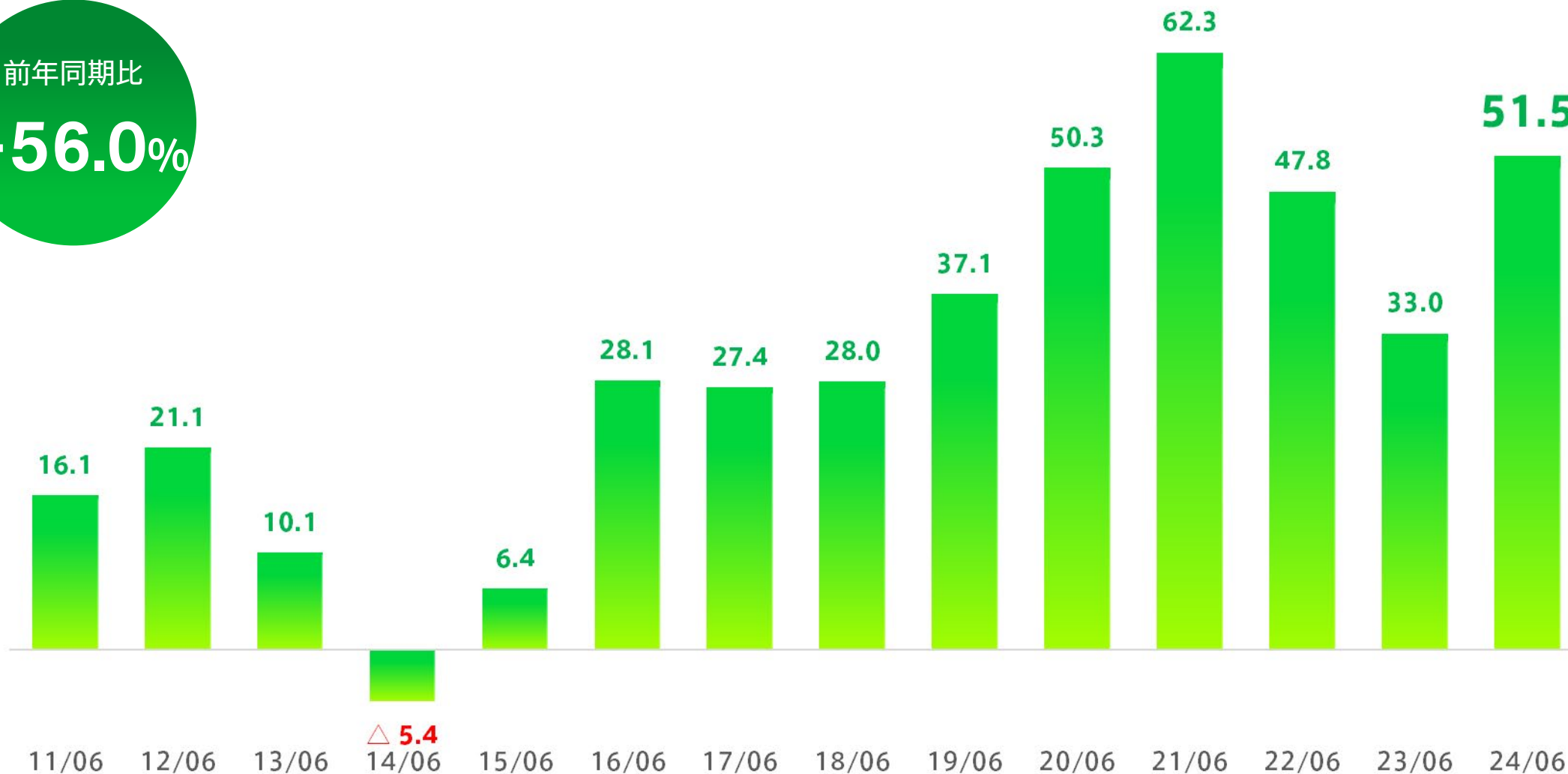


単位未満は切捨て

第3四半期 営業利益推移

単位：億円

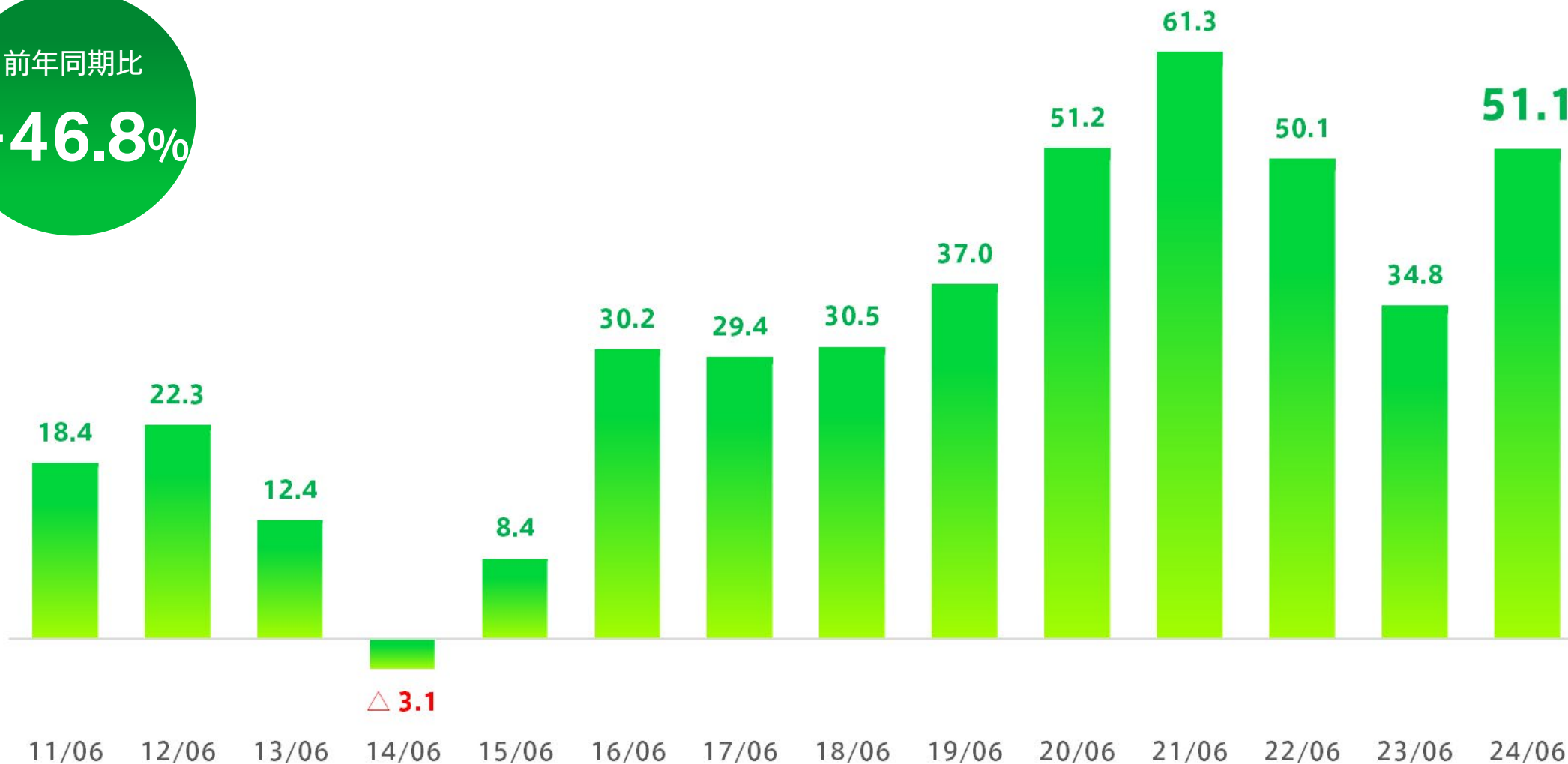
前年同期比
+56.0%



第3四半期 経常利益推移

単位：億円

前年同期比
+46.8%

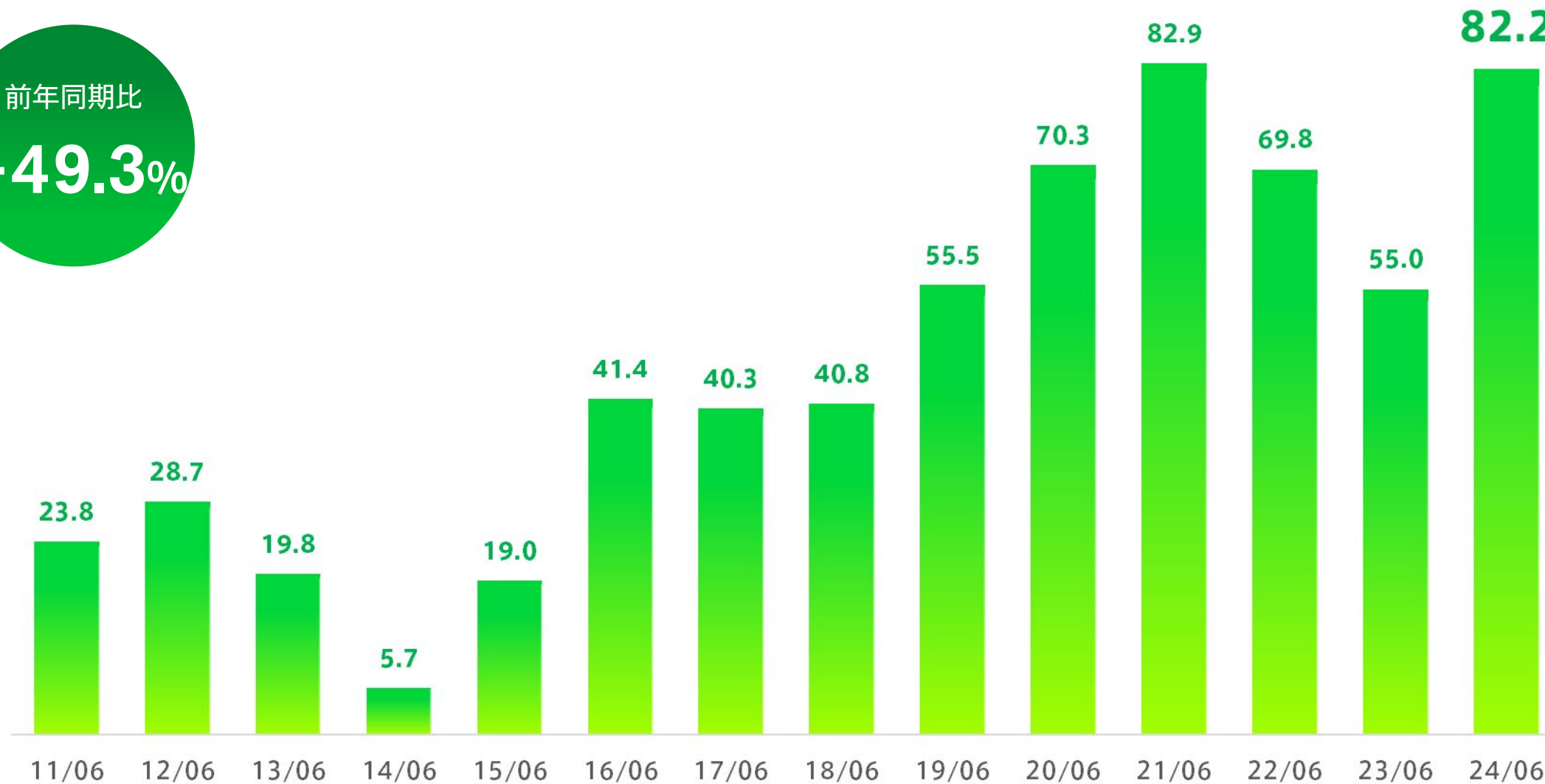


第3四半期 EBITDA[※]推移

※営業利益・減価償却費・のれん償却費の合算

単位：億円

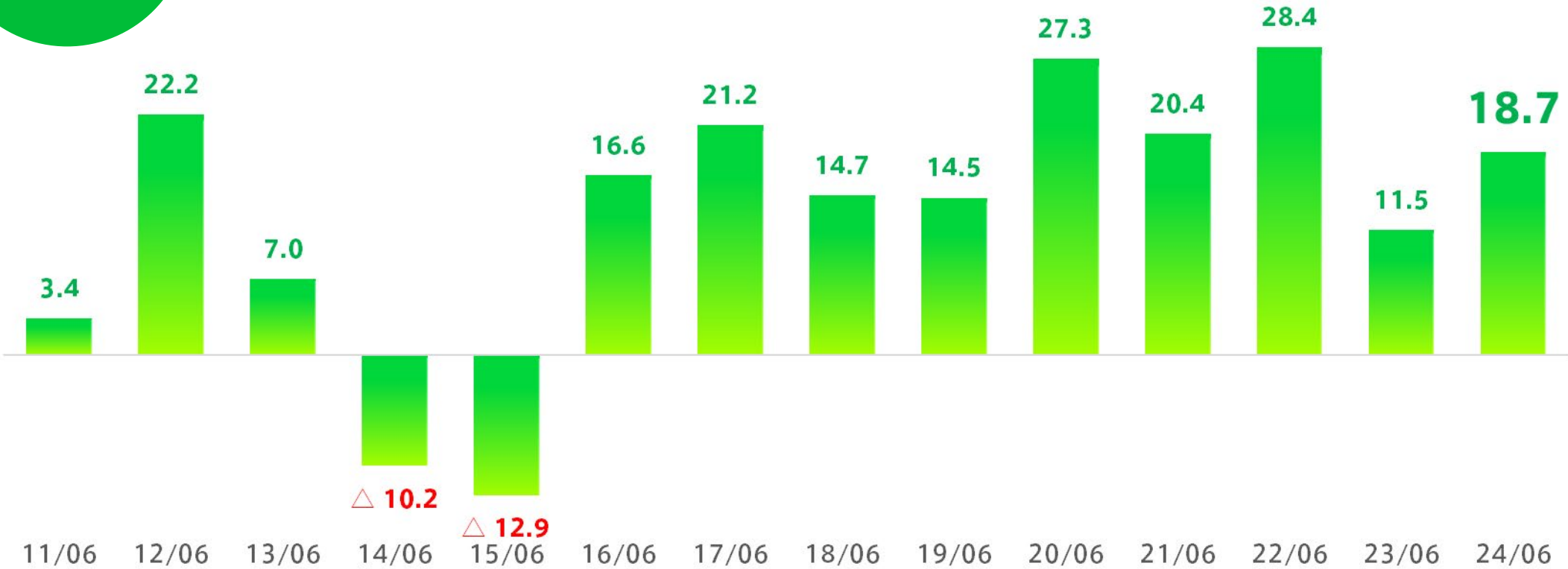
前年同期比
+49.3%



第3四半期 四半期純利益推移

単位：億円

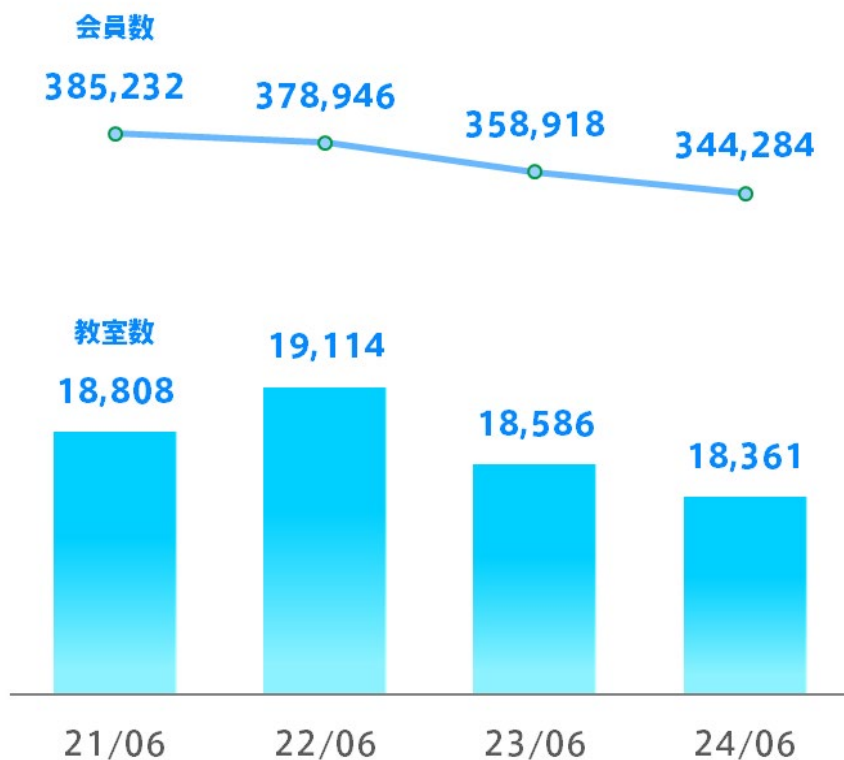
前年同期比
+62.3%



教室・塾事業 会員数・教室数

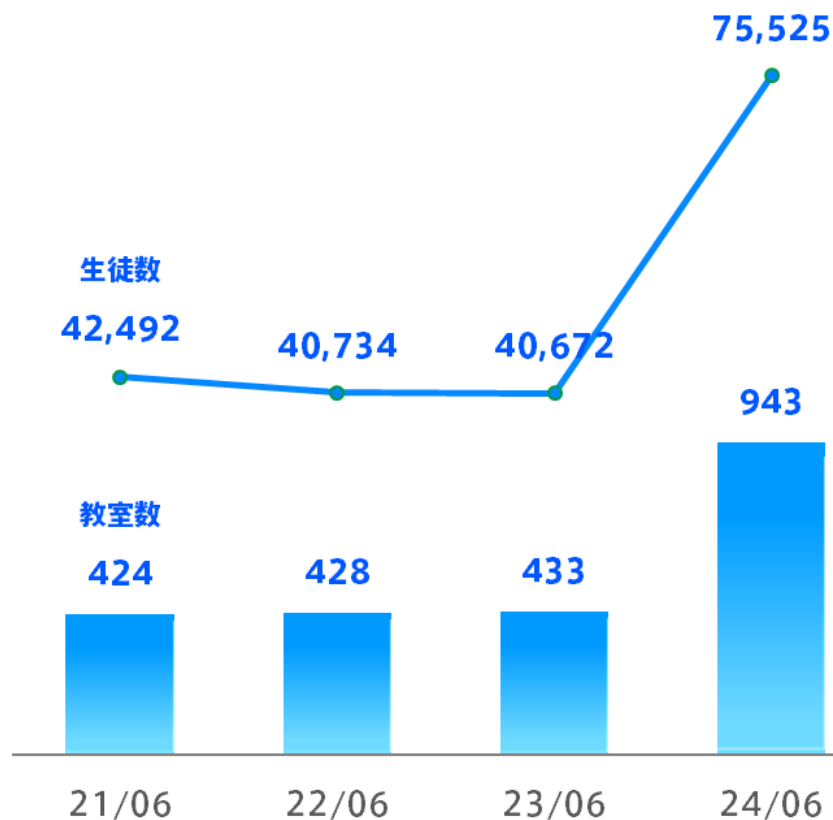
教室事業では、幼稚園設置型やショッピングセンター内教室数が増加し新規会員は回復するも、卒業・退会者も多く会員数は回復途上。塾事業は市進ホールディングス・エヌイーホールディングスのグループインにより生徒数、教室数とも増加。塾グループ全体として、生徒数は回復基調。

教室



※会員数、教室数は学研教室と幼児教室の合算です。

塾



※2023年5月に(株)エヌイーホールディングスがグループイン
※2023年7月に(株)市進ホールディングスを連結化

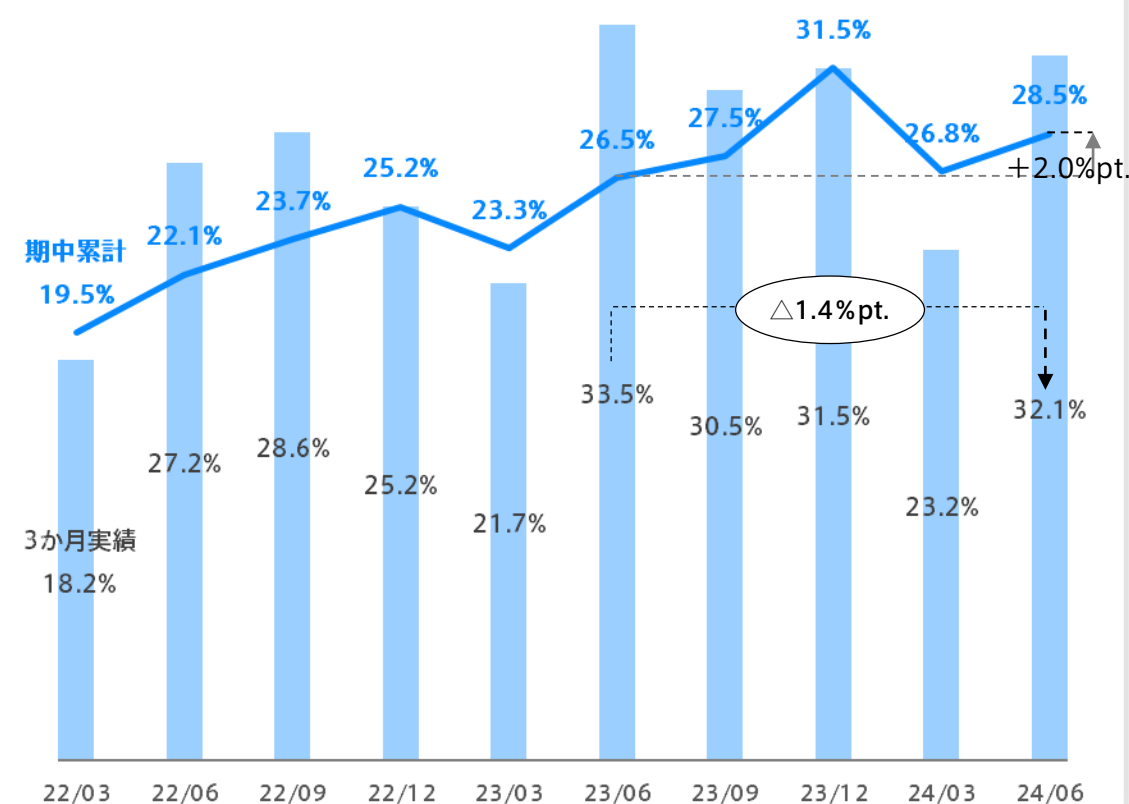
出版事業 書籍新刊点数／返品率*

累計返品率は28.5 %、前年同期比+2.0 %pt.と高い水準にあるも、第3 四半期だけで見れば前年同期比△1.4 %pt.改善

書籍新刊点数（期中累計）

	22/6	23/6	24/6
児童書	138	118	171
学習参考書	147	128	133
実用書	136	166	168
ムック	26	22	32
その他書籍	85	112	108
合計	532	546	612

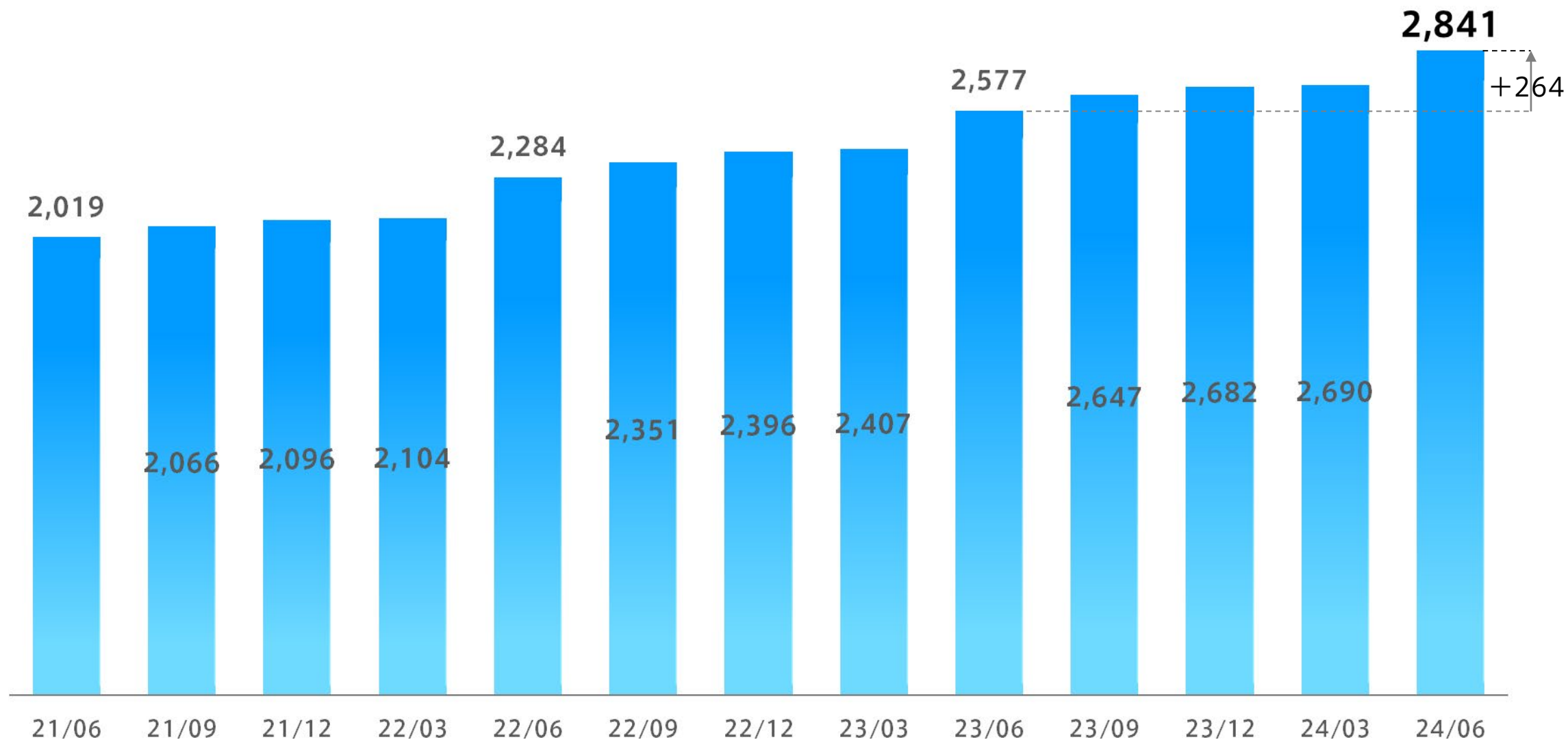
書籍返品率



*書籍（雑誌は含まず）新刊点数及び書籍返品率は、（株）Gakken と（株）地球の歩き方の合算です。

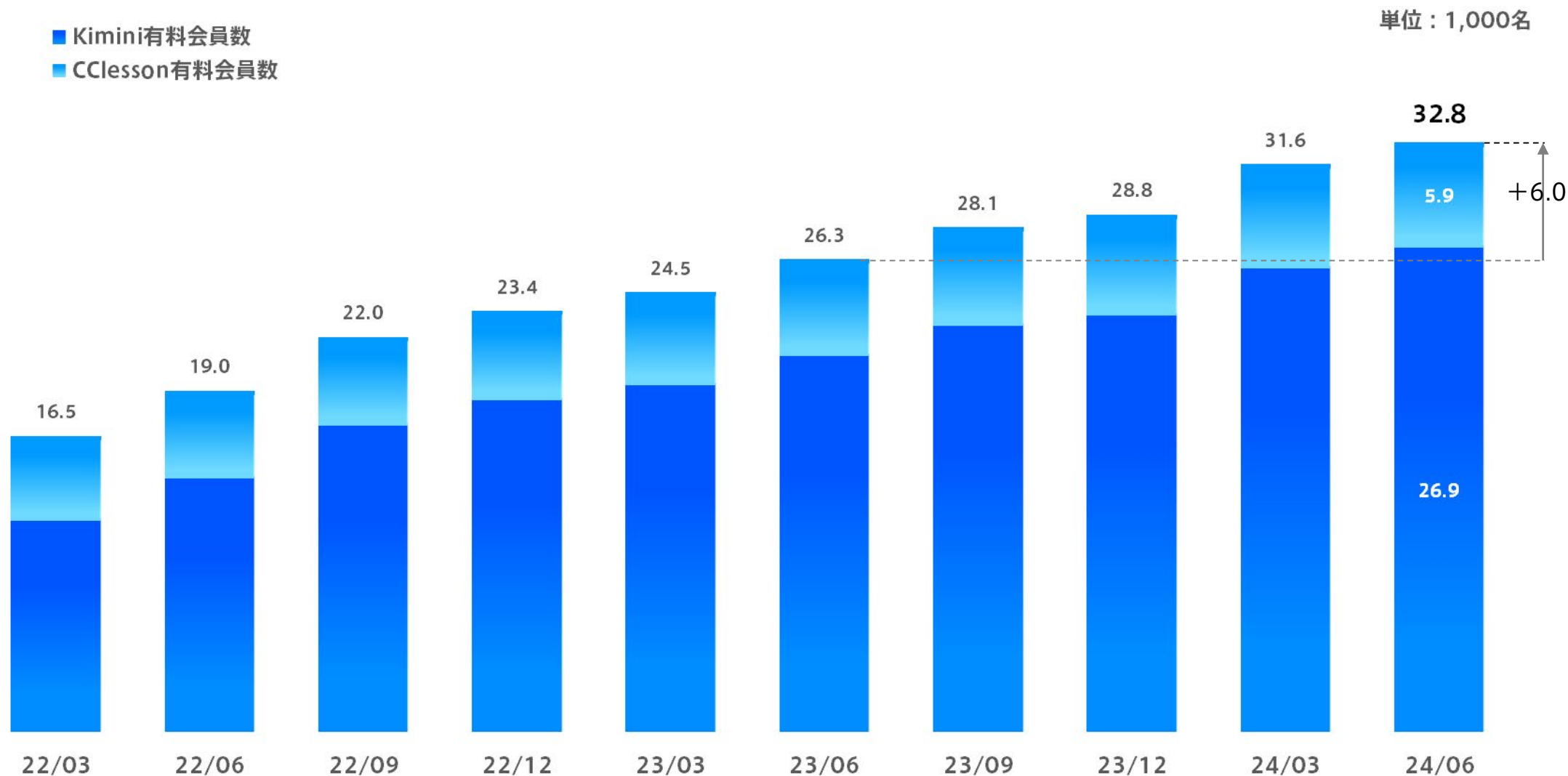
語学・社会人教育事業 看護師eラーニング契約病院数

前年同期比で264病院増加。新年度利用開始により3Qが増加するタイミング



語学・社会人教育事業 語学オンライン会員数

Kiminiの認知度Upに加え、プロモーションが奏功し、英語、中国語ともに登録会員数が順調に推移



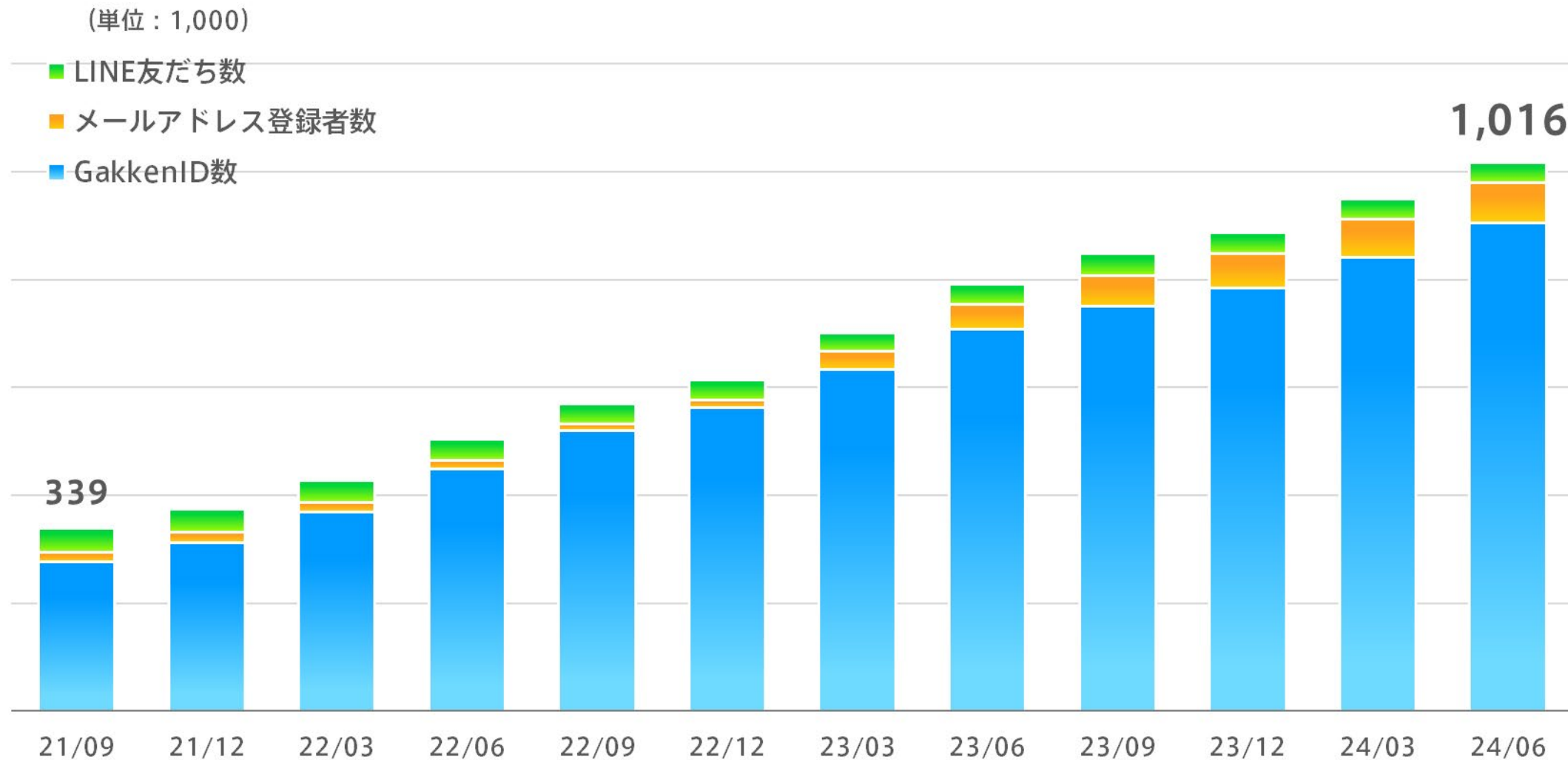
学校事業 教科書改訂スケジュール

△ 検定：文部科学省の調査（教科書としての適正性） ● 採択：所管の教育委員会による教科書の決定 ◎ 使用開始：各学校に供給し、児童生徒へ

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
小学 保健		△	●	◎	
中学 保体	◎		△	●	◎
小学 道德		△	●	◎	
中学 道德	◎		△	●	◎

DX戦略 グループ・ダイレクト・タッチポイント

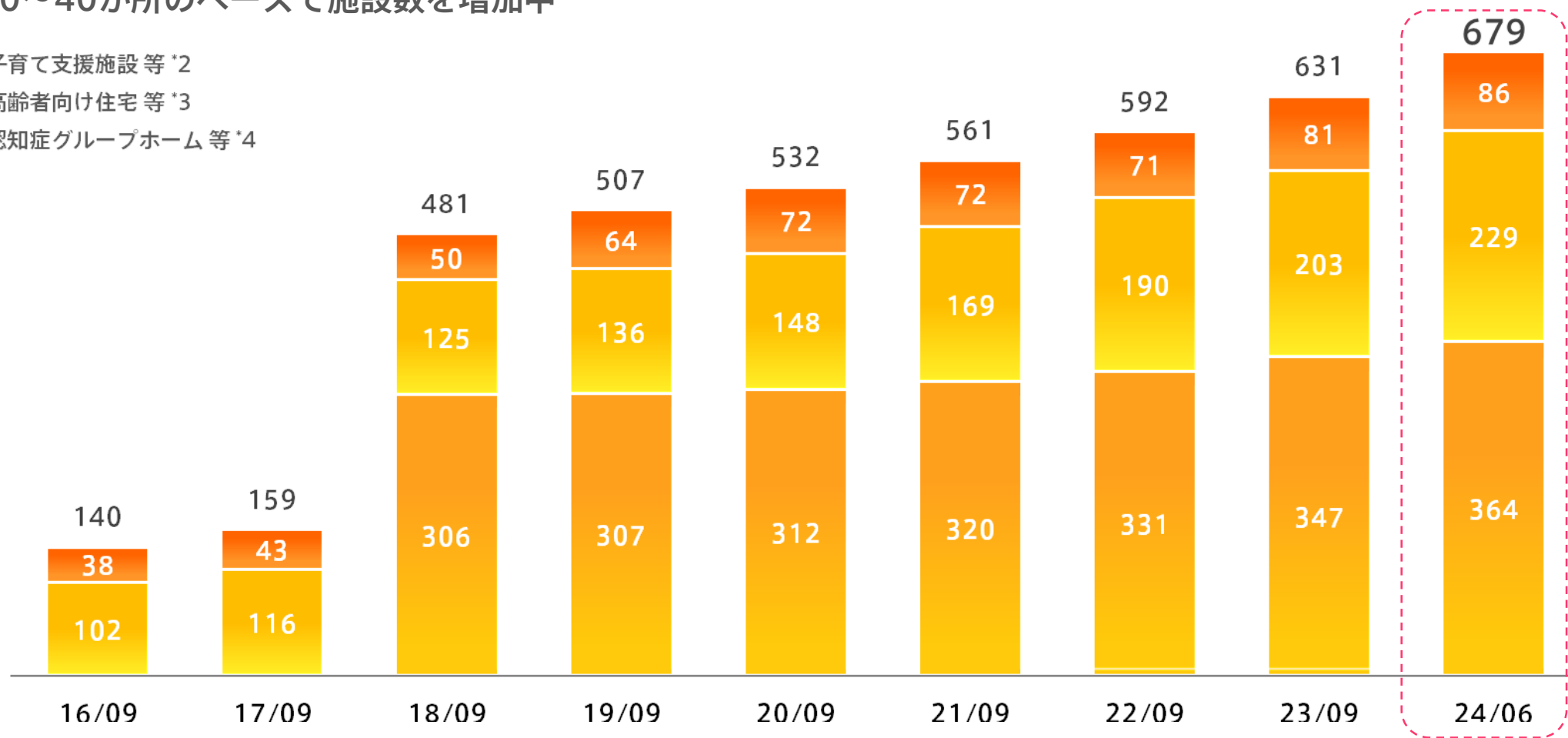
サービス毎のID取得合計数は100万件に到達。サービス間の連携を進め、顧客LTV向上を目指す



医療福祉分野 拠点数推移^{*1}

毎年30～40か所のペースで施設数を増加中

- 子育て支援施設 等^{*2}
- 高齢者向け住宅 等^{*3}
- 認知症グループホーム 等^{*4}



^{*1} 記載の数値は新規開設数と閉鎖数の差し引きです。海外拠点を含み、(株)市進ホールディングスが運営する介護サービス拠点は含みません。

^{*2} 保育所、学童施設、児童発達支援施設、フリースクール、学習支援施設の合算。

^{*3} サービス付き高齢者向け住宅の他に、訪問介護ステーションなど他区分拠点を含みます。2023年11月に事業譲受したグランユニライフケアサービス社の拠点は、当第2四半期より合算。

^{*4} 認知症グループホームの他に、特定施設、小規模多機能型居宅介護拠点など他区分施設を含む。

医療福祉分野 開設^{*1}計画と進捗

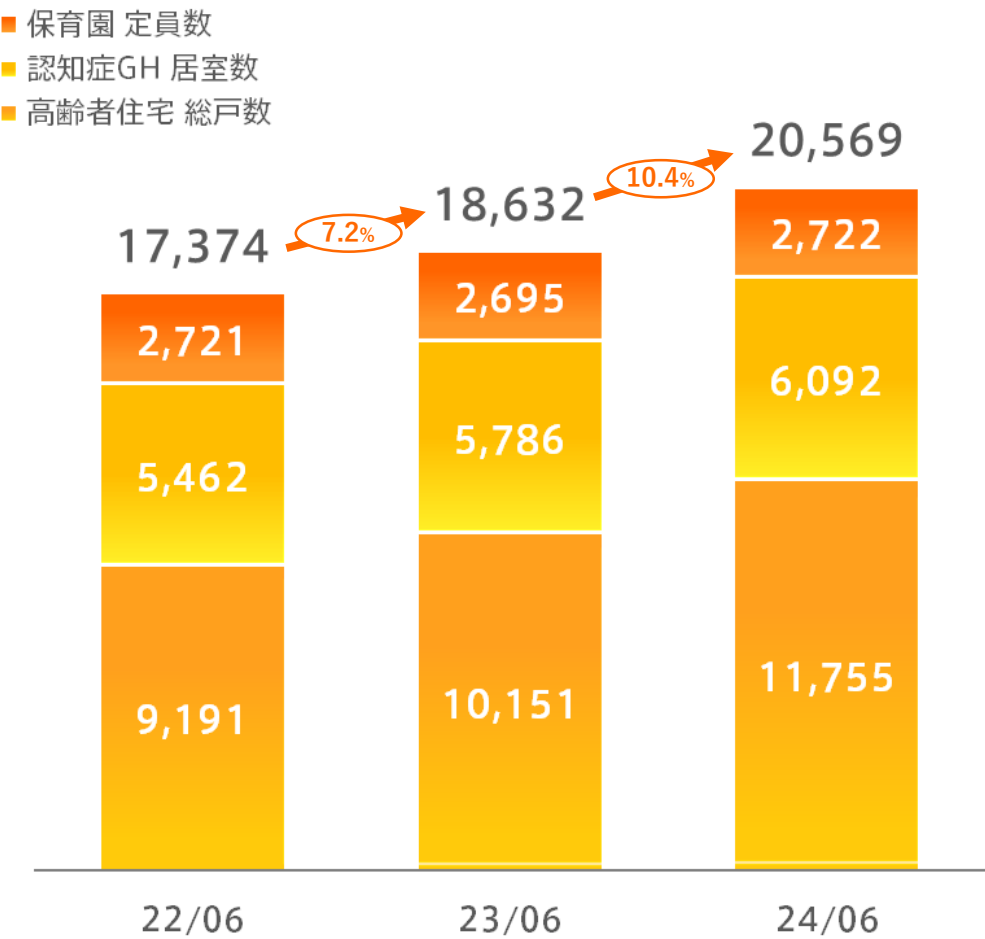
第3四半期末までで、高齢者住宅と認知症グループホーム合計39拠点開設し、積極的な新規開設ペースを継続
子育て支援施設は学童と児童発達支援施設で6か所新設済

	2023/9期	2024/9期	単位：開設数
	前期 開設実績	通期 計画	3Q 実績
			対通期計画 進捗
高齢者住宅	13	28	26 M & A17件 92.9 %
認知症 グループホーム	15	14	13 M & A5件 92.9 %
子育て支援施設 ^{*2}	10	13	6 46.2 %
合計	38	55	44 80.0 %

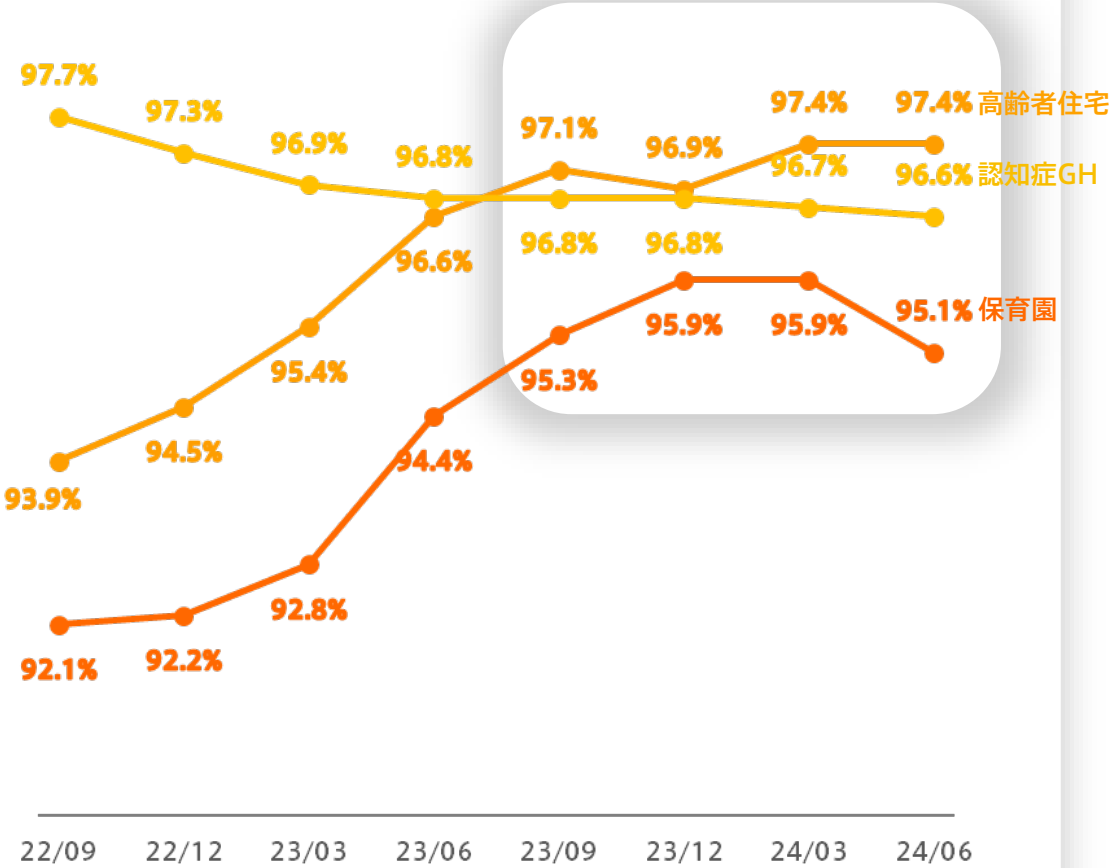
※ 1 国内拠点のみの数値です。同期間の閉鎖数を差し引いておりません。(株)市進ホールディングスが運営する介護サービス拠点は含みません。
※ 2 保育所、学童施設、児童発達支援施設、フリースクール、学習支援施設の合算です。

医療福祉分野 キャパシティと稼働状況

総戸数・居室数・定員数推移



入居率・充足率推移



医療福祉分野 入居率・充足率

		21/03	21/09	22/03	22/09	23/03	23/09	24/03	24/06
高齢者住宅	総戸数	7,632	8,308	9,037	9,665	9,980	10,361	11,512	11,755
	入居数	6,985	7,505	8,345	9,073	9,519	10,062	11,210	11,444
	入居率	91.5%	90.3%	92.3%	93.9%	95.4%	97.1%	97.4%	97.4%
認知症 グループホーム	居室数 ^{*1}	5,246	5,372	5,444	5,570	5,687	5,858	5,966	6,092
	入居率	98.0%	97.8%	97.6%	97.7%	96.9%	96.8%	96.7%	96.6%
子育て支援施設	定員数 ^{*2}	2,788	2,661	2,664	2,721	2,721	2,695	2,695	2,722
	園児数	2,389	2,443	2,441	2,505	2,524	2,568	2,585	2,589
	充足率	85.7%	91.8%	91.6%	92.1%	92.8%	95.3%	95.9%	95.1%

*1 認知症グループホームの居室数に他区分施設の居室数は含まれません。

*2 子育て支援施設の定員数は保育所のみです。

ESGの取り組み

ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みに優れた日本企業の株式のパフォーマンスを示すインデックスである「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に初めて選定されました。他のESG指数にも採択されるよう、引き続き取り組んで参ります。



**FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index**

【FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexについて】

FTSE Blossom Japan Indexシリーズは、ロンドン証券取引所グループ傘下のFTSE Russell社が設計したESG投資指数です。「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」は、各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス(ESG)の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスです。

なお、世界最大規模の公的年金基金である年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）もパッシブ運用のESG投資指数として同指数を採用しており、世界中の投資家から重要な投資判断基準として活用されています。

現在採択されているESG指数

- S&P/JPX カーボンエフィシエント
- FTSE Blossom Japan Sector Relative

今日、いくつ挑戦した？
Gakken

株式会社 学研ホールディングス

本資料には、事業計画に関する記述が含まれております。こうした記述は、当資料の作成時点における経済環境や事業方針等の一定の前提に基づき作成しております。従って、実際の業績がこれらの事業計画とは異なるリスクや不確定要素が存在することを予めご承知おき下さい。